

労福協 NEWS

2017.11 No.86

労働者福祉事業団体等研修会を実施

～憲法25条(生存権)から考える～



2017年9月16日(土)に、瀧誠司弁護士を講師に迎え、労働者福祉事業団体職員の研修会を実施しました。

「憲法は国家の権力の行使を縛るもの」との原理を大前提に「憲法25条の第1項は、救貧施策として生活保護を、第2項は防貧施策を規定しており、防貧施策は広く国会の立法裁量が認められている。立法裁量が尊重されるのは、“投票箱への権利”としての表現の自由等の

精神的自由権が侵害されていないことが大前提となる。」との趣旨で講演をしていただきました。

“投票箱への権利”で権力からの侵害を不断の努力で監視していかなければならないことを改めて確認しました。たいへん有意義な研修でした。



「労福協NEWS」は、連合、労金、全労済、勤労者福祉ネットワーク、労館、労福協の6団体による「共同デスク編集委員会」を持ち発行しています。

労 福 協

庫倫旗一中生を迎えて

庫倫旗一中生招待事業は、2011年に開始して今年で7回目になる。

10月21日、台風21号が接近 する中、乌云先生と女学生 寧寧・阿如汗^{にんにん あるはん}の3人を関西国際空港に迎え、雨の中、奈良・京都を観光した。沙漠の庫倫では雨はめったに降らない。雨の日本に驚いていたという。23日に徳島に到着した。途中、鳴門の海も荒れていて、観潮船には乗れなかったが、生まれて初めての浜に出て海に入り、海水を舐めて塩辛さに驚いたようだ。



中、鳴門の海も荒れていて、観潮船には乗れなかったが、生まれて初めての浜に出て海に入り、海水を舐めて塩辛さに驚いたようだ。

徳島では姉妹校の北井上中学校を訪問。全校生徒の歓迎会で、庫倫旗発祥の「安代^{あんだい}の舞」を披露、また、歓迎レセプションでも踊って喝采を受けた。四国大学



では各国の留学生と折り紙を通して、和やかに交流を深めた。

一番気を遣ったのは食事であった。特に一人の子は、食べることに慎重で多くを残してしまっていた。インドカレーの店では、彼女たちが初めての「ナン」で、カレーを付けて完食してくれた。「回る寿司」に入ったところ、魚は全くダメで、酢飯だけを食べ、ネタは私たちが食べる羽目になった。

短期間ではあったが、彼女たちは日本の自然・文化・人情を体験できたことと思う。これを糧として日中友好に尽力してくれることを期待する。

この招待事業は、徳島県労働福祉協議会の日中友好交流事業として今後も是非継続していきたい。



UP!
2017 生活底上げ
福祉強化

**給付型奨学金制度の拡充と
教育費負担の軽減を!** 拡散希望!

- 2018年4月から本格実施される給付型奨学金制度のさらなる拡充と教育費負担の軽減を求めて声をあげよう!
- 現在返還中の人たちの負担軽減に向けて改善策を求めよう!
- 未来を担う若者や子どもたちを地域で支えよう!

徳島県労福協



みんなで声をあげよう!

2017 生活底上げ・福祉強化キャンペーン

連 合

第17期連合徳島ボランティア・サポートチーム養成講座

9月13日（水）メンタルサポート学習会



9月13日、ふれあい健康館第1会議室にて、第17期 連合徳島ボランティア・サポートチーム（VST）養成講座と徳島県中小労働対策本部、NPO法人徳島労働安全衛生センターとの合同学習会を開催し、構成組織等から33名が参加した。

冒頭、主催者を代表して連合徳島吉野泰甲副会長から挨拶の後、徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 社会総合科学域 人間科学系（心理学分野）内海千種准教授より、「災害時にみられる心理的反応と支援の基礎」の講演を受けた。

講演の「災害後に起こりうる心理的反応」では、ある出来事（原因）をプレッシャーに感じ、心と身体の状態に変化（結果）が起きる過程がストレスであり、日常のストレスと災害体験とは心理的な傷の違いや、被災後に起きる身体と心の変化は異常事態における正常



反応であり、いつまでも続くものではないので、第一に身体症状の医療的対応を

優先する。また、PTSD（心的外傷後ストレス障害）とはトラウマ体験の1ヶ月後に起る生々しい五感で蘇ってくる障害であることも説明された。

「支援の基礎」として、ボランティア活動で被災地に入り、災害を体験した方と話をするときは、無理に体験を聞き出さない、話を聞いて気持ちを受けとめ、安易に励まさず努力を促さない、事実の受け止めや気持ちを強制しない、物理的な指標や個人の判断基準で体験の判断をしてはならないことと、支援者としてトラウマの話を聞くことで、無力感や自責感を感じ、聞く側も傷つき二次受傷があることを前もって知っておく「支援者のメンタルヘルス」も学んだ。



最後に、徳島県中小労働対策本部原田俊彦副議長が、「起こり得る大災害時に本日の講演で学んだことを発揮して現場で役立ててもらいたい。」と挨拶して閉会した。

今回のメンタルサポート合同学習会では、被災者からの話の聞き方と寄り添い方を学び、被災地での実践に大きく役立つ学習会となった。今後も連合徳島は災害時のボランティア活動に向けた学習会を推し進めていく。

ろうきん

～四国労働金庫社会貢献活動『助成金制度』～

2017年度「助成先への目録贈呈式」開催報告

四国労働金庫（高松市：理事長 小川 俊）は、社会貢献活動の一環として2002年度より四国労働金庫社会貢献活動「助成金制度」を制定し、四国内で活動しているボランティア団体・NPO法人等を対象に助成金を贈り、地域の福祉活動を支援しています。

2017年度の助成金募集（募集期間：2017年6月1日～2017年7月31日）の結果、18団体より2,530,270円の助成金申請があり、この度、当金庫の資金助成選考委員会（学識者2名、会員代表4名、金庫役員3名の計9名で構成）で選定審査を行い、16団体の活動に、2,172,270円の助成を行うことを決定いたしました。

※徳島地区は下記の3団体に助成が決定し、10月16日に徳島営業本部において助成金目録贈呈式が行われました。



◆2017年度「助成先団体」徳島県関係分一覧表

徳島県関係の助成先は、下記の3団体で助成金総額 300,000 円となります。

助成先団体名	団体所在地	助成対象活動
特定非営利活動法人 Approach For Life Saver	徳島市	健康寿命を延ばすための公開講座（第6回）
徳島県筆記通訳者協会	鳴門市	要約筆記技術の向上と指導力を磨くための研修会と新規要約筆記者育成のための講習会
徳島県脊柱靱帯骨化症友の会	徳島市	医療講演会及び相談交流会の開催

全 労 済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済からのお知らせ

全労済は2017年9月29日に 創立60周年を迎えました

全労済は、共済事業を行う協同組合として「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念を、多くの組合員や協力団体の皆さまと共有してまいりました。

60年という節目を迎え、これまでの感謝の気持ちを大切にしながら、これからも人々の暮らしの変化に応え、より多くの人に安心を届けるために、今後も歩み続けます。



「協同組合の思想と実践」が、ユネスコの「無形文化遺産」に登録されました

2016年11月30日、ドイツ政府が申請した「協同組合における共通の利益を形にするという思想と実践」が、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の「無形文化遺産」に登録されました。協同組合の相互扶助機能への関心は世界的にも高く、さらなる展開が期待されています。

2017年度 徳島推進本部 防災イベント開催報告

2017年10月15日（日）徳島県立防災センターで開催された「とくしま防災フェスタ2017」に参画し、地域へ防災対策に関する知識を広く普及し、大規模災害に備えるための意識の高揚をはかることを目的とした防災イベントを開催しました。

当日は朝からあいにくの雨の中にもかかわらず約4,500の方が来場され、徳島推進本部出展ブースでは小さなお子さまから大人の方まで、空気の力で水を発射するミニ消火器を使って火災をイメージした的当て放水ゲームや、非常食の試食体験に参加いただきました。

また、さまざまなリスクから「住宅」や「家財」を守る保障の備え方などを、アンケートに答えていただきながら楽しく学んでいただきました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



勤労者福祉ネットワーク

◆徳島ファミサポで病児・病後児預かり業務開始

10月2日、昨年の板野東部ファミサポに続き、2市4町1村(徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町)の広域で子育て支援を行う徳島ファミリー・サポート・センターの「病児・病後児預かり業務開始式」が、わーくびあ徳島5階で行われました。

開始式では、来賓として後藤田博徳島県副知事が、また、主催自治体の遠藤彰良徳島市長、濱田保徳小松島市長、中田丑五郎勝浦町長、花本靖上勝町長、岩城福治佐那河内村長、小林智仁石井町長、後藤正和神山町長のご出席をいただきました。主催自治体7名の首長を紹介した後、代表して遠藤徳島市長より挨拶。運営団体として財団理事長の久積育郎より、「徳島県全ての市町村での病児・病後児預かりサービス実現」に向けた意気込み、決意が述べられ、来賓の後藤田副知事からは飯泉嘉門知事の祝辞が代読されました。

また、病気の症状や薬の知識などに関する計7時間半の講習を受けた提供会員(エクストラ会員)16名が紹介され、病児や病後児の子どもを一時的に預かる事業に携わることで、徳島の子育てに優しい環境づくりの一翼を担うという責任と喜びを参加者とともに共有し、決意を新たにしました。その後、バルーンシャワーで業務開始を祝福し、最後に記念撮影を行い開始式を閉じました。

◆コミュニティビジネスセミナー

2017「思いに花を咲かせよう! 3」開催

9月14日から10月5日まで、毎週木曜4回シリーズで開催。今回も引き続き昨年大好評だったグラフィックファシリテーターの玉有朋子さんを迎え、講演内容をイラストと文字でリアルタイムでビジュアル化、最初あやふやだった参加者の意志を体系的に分析、リードすることで、はっきりとしたビジョンへと導きました。

「とくし丸」の村上氏による新たなビジネスの取り組みや、仲間作りをテーマに「水辺の街アクア・チッタ」の岡部氏の挑戦など、徳島で活躍するゲストの苦労や成功の鍵を聞くことができ、また、参加者同士の繋がりも深まり、将来的にネットワークを中心とした連携も期待できる、昨年よりさらに充実したものとなりました。



決意を述べる久積理事長



バルーンシャワーで業務開始を祝福



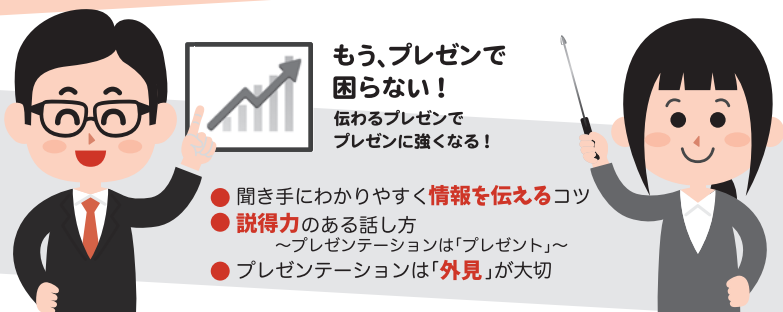
副知事、2市4町1村の首長とともに、記念撮影



グラフィッカーの玉有朋子さん

2017 13:30-15:00 **12/1金** アスティとくしま1F第3会議室

プレゼンテーション アップセミナー リよく



もう、プレゼンで困らない!
伝わるプレゼンでプレゼンに強くなる!

- 聞き手にわかりやすく**情報**を伝えるコツ
- **説得力**のある話し方
～プレゼンテーションは「プレゼント」～
- プレゼンテーションは「**外見**」が大切

あわ〜ず徳島
徳島勤労者福祉サービスセンター

事前申込必要

お問合せ・お申込み

公益財団法人 徳島県勤労者福祉ネットワーク
あわ〜ず徳島(徳島勤労者福祉サービスセンター)

〒770-0942 徳島市昭和町 3-35-1 わーくびあ徳島 4F
Tel. 088-611-3322 (平日9:00~18:00)
Fax. 088-611-3323

研修費 **あわ〜ず徳島**会員無料
会員以外 2,000 円



講師
加渡 いづみ氏

四国大学短期大学部
ビジネス・コミュニケーション科
教授

地域ライフサポートセンターの活動

徳島中央ライフサポートセンター

「2017平和行動in根室」から ＝百間は一見に如かず＝

「北方領土問題」、新聞やTVで漁船の拿捕等が報道されると、「大変厳しい問題だなあ!!」と遠くから見つめている様なところがあった。

しかし、今回、連合が主催する「2017平和行動in根室」に参加し、北海道の人々、特に北方4島を目の前に生活する根室市の人々の話や現状を見ると「厳しい問題だなあ!!」と他人事のように思うことが恥ずかしくなった。

自分の無知と認識のなさを知る旅程を恥を忍んで紹介しよう。

9月8日（金）、徳島空港から羽田で乗り換え女満別空港に着く。

女満別空港からは、レンタカーを走らせ北海道の歴史と自然の雄大さを再認識しようと網走監獄経由で知床まで向かう。



今さらながら、北の大地の広大さと自然の美しさに感動する。ただ、風雪対策、路面の凍結対策等を見ると、冬の厳しさに立ち向かう住民の方々の苦勞が忍ばれる。

9月9日（土）、「北方四島学習会」に参加。先ず、映画「ジョバンニの島」が上映された。

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」のジョバンニとカンパネルラから名付けられた兄弟、純平と寛太の目線から見た、終戦間近の色丹島、終戦を迎えた島にソ連の艦隊が上陸し島の生活が一変する様子が描かれていた。

厳しい現実を兄弟の目線で描くことにより、デリケートな政治問題を表面化させず戦争体験を追体験させる素晴らしい映画であった。

ただ、デリケートな内容であるのは分かるが、や

や美しく描き過ぎているような気がした。

その後、「日ロ共同経済活動の展望について」のパネルディスカッションがあり、歯舞漁協伊藤専務理事から根室半島歯舞地区の漁業の現状を聞くと、「貝殻島の昆布協定」を始めとするロシアとの漁業協定に多大な労力を要していることが伺えた。

また、根室市石垣副市長から根室市独自の取り組みの紹介があり、北方四島交流事業を6分野で取り組んでいることなどを知った。

9月10日（日）は、「2017平和ノサップ集会」。連合徳島森本会長は、根室市中心部から納沙布岬・望郷の岬公園まで約22kmを徒歩で参加。我々は、車で約20分かけての参加。



朝から雨で霧がかかり、周りは何も見えないような状況であったが、先ず日本最東端の地「納沙布岬灯台」から貝殻島を望むことにした。霧の為、貝殻島は確認できなかったが、歯舞群島の他の島が見えた。なんと近いことか!漁業協定がなければ操業できない現実に、

歯舞地区の漁民は常に疑問と無念さをもって漁に出ているのではないかと大変残念に思った。



集会では、元島民の方からの訴えにもあったが、元島民の平均年齢は80歳を超えており、今後の運動を次世代へ継承する取り組みが重要であると痛感した。

特に、北方四島返還の早期実現に向けては、国民の多くがいかに関心を寄せるか、ロシア国民といかに友好関係を築いていくか、また、一方では、世界に対しどの様にアピールしていくかを慎重に考えていかなければならないと思った。

これらのことにより、北方四島返還が早く進み、平和条約締結へ繋がるのではないかと期待し、女満別から帰路についた。

徳島西部ライフサポートセンター

～地域貢献事業（着ぐるみ貸出事業）～

徳島西部ライフサポートセンターでは、地域貢献事業の1つとして着ぐるみ貸出事業を行っています。トラ、アンパンマン、バイキンマンの3体の着ぐるみがあり、地域のイベントや幼稚園や小学校での運動会で大活躍しています。特に秋は行事も多く、子どもたちを笑顔にしたり時々は泣かせてしまう(!?)機会も多くあります。また、今年は台風の影響で中止になった夏の恒例イベント「平和の夕べ」では、着ぐるみショーで子どもたちにも分かりやすく平和の大切さを伝えています。

こうした地域貢献事業を通して、地域のみさんと交流し、徳島西部ライフサポートセンターを広く知ってもらえたらと考えています。



「平和の夕べ」キャラクターショーでのひとこま

～2017年度上半期 相談業務集計～

徳島西部ライフサポートセンターでは、定例相談（法律相談、保険・金融相談、ニート支援出張相談、生活困窮者支援相談）と一般相談活動を行っています。

様々なお仕事の悩み、賃金等の労働条件・解雇・セクハラ・パワハラ等のお仕事に関するご相談、介護、子育て、税金など日々の生活での

【2017年4月1日～9月30日までの相談報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
生活相談	0	2	0	3	3	3	11
保険・金融相談	0	2	0	0	1	0	3
労働相談	1	2	0	0	0	2	5
子育て・家庭相談	0	0	0	0	0	2	2
就職相談	1	0	1	0	0	0	2
介護相談	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	6	1	3	4	7	23

心配事のご相談、どこに相談すれば分からないときは徳島西部ライフサポートセンターへご相談ください。

利用できる制度やサービスを提供できる機関をご案内します。専門的なアドバイスを受けるお手伝いをさせていただきます。

徳島南部ライフサポートセンター

ろうきん祭り地引網大会が

7月15日(土)3年ぶりに開催されました。

以下、主催した「四国労働金庫阿南支店」から届いた報告と写真です。ご覧ください。

★地引網の開催は3年ぶりでしたが、天候に恵まれず中止に追い込まれた過去3年分を取り戻そうとするかのように、当日は雲ひとつないといってもいいほどの青空。200人以上のみなさんにお集まりいただき、大いに盛り上がりました。



ろうきん祭り地引網は、毎年ろうきんが企画しているイベントの中でも、特に家族でのご参加の多いイベントです。みんなで力を合わせて引っ張る地引網以外にも、砂浜に隠されたろうきんプレートを探す「宝探し」イベントや、豪華賞品が当たる「抽選会」など、ご家族みんなで楽しんでいただける内容となっています。

ろうきん阿南支店ではこれからも、職場を超えた地域勤労者の親睦や、ご家族のふれあいの



お手伝いができるような様々なイベントを企画しておりますので、どうぞよろしくお願いします。

(阿南支店Y・Y記)★

【2017年度上半期の相談件数集計表】 4月1日～9月30日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
暮らし・生活	0	0	1	5	5	0	11
法律	2	0	0	0	0	0	2
子ども・介護・老後	0	0	0	2	0	0	2
保険・金融	0	0	0	0	0	0	0
労働相談	3	2	7	8	5	2	27
合 計	5	2	8	15	10	2	42

徳島西部ライフサポートセンター

～地域貢献事業（着ぐるみ貸出事業）～

徳島西部ライフサポートセンターでは、地域貢献事業の1つとして着ぐるみ貸出事業を行っています。トラ、アンパンマン、バイキンマンの3体の着ぐるみがあり、地域のイベントや幼稚園や小学校での運動会で大活躍しています。特に秋は行事も多く、子どもたちを笑顔にしたり時々は泣かせてしまう(!?)機会も多くあります。また、今年は台風の影響で中止になった夏の恒例イベント「平和の夕べ」では、着ぐるみショーで子どもたちにも分かりやすく平和の大切さを伝えています。

こうした地域貢献事業を通して、地域のみなさんと交流し、徳島西部ライフサポートセンターを広く知ってもらえたらと考えています。



「平和の夕べ」キャラクターショーでのひとこま

～2017年度上半期 相談業務集計～

徳島西部ライフサポートセンターでは、定例相談（法律相談、保険・金融相談、ニート支援出張相談、生活困窮者支援相談）と一般相談活動を行っています。

様々なお仕事の悩み、賃金等の労働条件・解雇・セクハラ・パワハラ等のお仕事に関するご相談、介護、子育て、税金など日々の生活での

【2017年4月1日～9月30日までの相談報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
生活相談	0	2	0	3	3	3	11
保険・金融相談	0	2	0	0	1	0	3
労働相談	1	2	0	0	0	2	5
子育て・家庭相談	0	0	0	0	0	2	2
就職相談	1	0	1	0	0	0	2
介護相談	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	6	1	3	4	7	23

心配事のご相談、どこに相談すれば分からないときは徳島西部ライフサポートセンターへご相談ください。

利用できる制度やサービスを提供できる機関をご案内します。専門的なアドバイスを受けるお手伝いをさせていただきます。

徳島南部ライフサポートセンター

ろうきん祭り地引網大会が

7月15日(土)3年ぶりに開催されました。

以下、主催した「四国労働金庫阿南支店」から届いた報告と写真です。ご覧ください。

★地引網の開催は3年ぶりでしたが、天候に恵まれず中止に追い込まれた過去3年分を取り戻そうとするかのように、当日は雲ひとつないといってもいいほどの青空。200人以上のみなさんにお集まりいただき、大いに盛り上がりました。



ろうきん祭り地引網は、毎年ろうきんが企画しているイベントの中でも、特に家族でのご参加の多いイベントです。みんなで力を合わせて引っ張る地引網以外にも、砂浜に隠されたろうきんプレートを探す「宝探し」イベントや、豪華賞品が当たる「抽選会」など、ご家族みんなで楽しんでいただける内容となっています。

ろうきん阿南支店ではこれからも、職場を超えた地域勤労者の親睦や、ご家族のふれあいの



お手伝いができるような様々なイベントを企画しておりますので、どうぞよろしくお願いします。

(阿南支店Y・Y記)★

【2017年度上半期の相談件数集計表】 4月1日～9月30日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
暮らし・生活	0	0	1	5	5	0	11
法律	2	0	0	0	0	0	2
子ども・介護・老後	0	0	0	2	0	0	2
保険・金融	0	0	0	0	0	0	0
労働相談	3	2	7	8	5	2	27
合 計	5	2	8	15	10	2	42

壮 生



今日、世界に類を見ない速さで高齢化が進む人口減少高齢化社会において、支援を必要とする一人暮らしシニアが増加しており、シニアの健康・就労・生きがい・居場所づくりは重要な課題です。とりわけ、一人暮らし高齢者の孤立・貧困化は大きな社会問題となっているところです。このような中で、特定非営利活動法人(NPO) 壮生は、定年退職者等の高年齢退職者に対して就業の援助、職業能力の再開発、健康の維持増進などの生涯生活サポートに関する事業を行い、経済的自立、生きがいの充実、社会との共存協働を実現することにより社会に寄与することを目的に設立、高齢者雇用に努めています。また、本年7月1日に、これからの共生社会を展望し、シニアの活躍の場を紹介するとともに、共生事業化に向けたすそ野を広げる活動として「サポート壮生」を立ち上げました。

会員向けの主な活動として、シニアが集う交流の場、「シニアカフェグランマ」を毎月第1土曜日に、偶数月には「折り紙教室」、毎週、月・金には頭の体操と技術取得をめざしてパソコンサークルを実施しています。

本年8月に開催した折り紙教室は、テーマを「賑やかな秋」と題して実施、受講生たちは目の色を輝かせて作成していました。

毎週月・金に開催しているパソコンサークルは、参加者の多くが、町内会の役員や同窓会の役員をしていることから、名簿作成からハガキ・封筒の作成、又家計簿や会計簿づくりを一貫して学ぶことに取り組んでいます。皆さんの周りの人たちにもお声がけいただき、是非とも壮生の会員となり「老いてますます壮ん」を合言葉に取り組む壮生への協力をお願いします。



わーくぴあ徳島

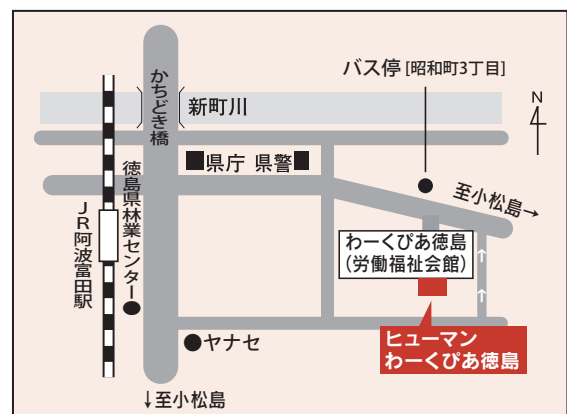
ヒューマンわーくぴあ徳島をご利用下さい。



J R阿波富田駅より徒歩10分
市バス「昭和町3丁目」停留所前
旧国道55号線沿い県庁前の便利な場所

各種会議や講演会などの
ご利用は・・・TEL(088)625-5111

一般社団法人 徳島県労働福祉会館
<http://workpia-tokushima.jp>



ZENROSAI NEWS



全労済
公式キャラクター
ビットくん

全労済は「保障の生協」。

支えあう安心。

これからも、もっと大きく。

全労済の住まいる共済

(新)火災共済・(新)自然災害共済

こくみん共済	⑤総合医療共済
⑥せいめい共済	マイカー共済
自賠責共済	団体生命共済
交通災害共済	新セット移行共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会



平日、忙しい人のために
休日に相談できる
ところがあるんだって。
けっこう、いいよね。

だから、私も、ろうきん。

けっこう使える。
ろうきん

あなたと
わかちあう
次の一歩

R ろうきん

発行 公益社団法人

徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくびあ徳島 内)

TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113

URL <http://www.tokushima-rofuku.net/>e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 川 越 敏 良

印刷者 (有)フォトプリント白石